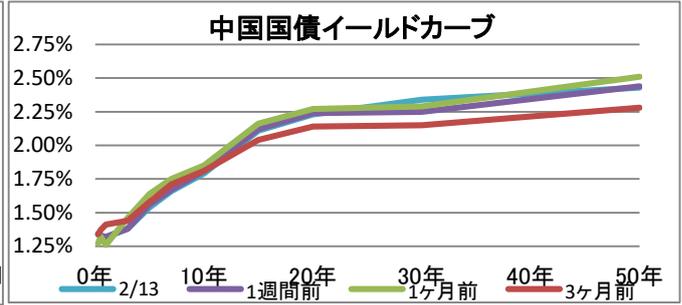
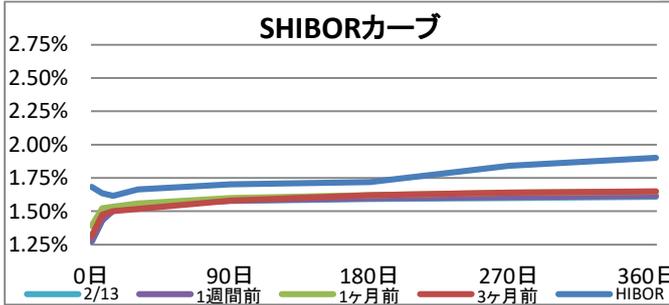


1.市場概況

基準レート		2026/2/13	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.9398	-0.0192
	JPY/CNY	4.5304	+0.0937
SHIBOR	3M	1.5790%	-0.0010%
国債利回り	10年	1.79%	-0.02%
上海総合指数		4,082.07	+16.49



(1) 概況

国際金融市場は、雇用統計以外の米経済指標が総じて軟調となり、その雇用統計も年次改定内容に脆弱さを指摘する意見も見られ、株式市場ではAIに対する巨額投資に加えてAI利用の拡大に伴う雇用や不動産市場に与える影響に対する懸念からリスクオフとなって反落し、債券利回りは大幅低下。外為市場は小幅な値動きに終始したものの、金は続伸し、ビットコインは続落。

中国金融市場では、春節連休を控えて市場参加者も減少して動意が一段と低下する中、株式市場は概ね堅調に推移していたものの、世界的な株式市場の下落もあって上げ幅を縮小し、債券市場では利回り低下余地の残る信用債を中心に全般的に買いが入って利回りが低下し、外為市場では、ドル安と季節要因による元高圧力が続いて一時1ドル=6.9元台を割り込んだ後に6.91台まで戻している。

中国では、習主席が先進IT企業視察で科学技術の自立自強の重要性を主張し、科学技術系国家ファンドとの会議では、基礎研究の戦略的かつ先見的な措置と研究者の独創的な成果創出に対する支援強化を指示し、李強総理は「AI+」をテーマとする学習会でAI技術革新と産業への応用を通じて新質生産力の育成を拡大する必要性を強調し、レアアース関連施設視察では先進製造業の発展やグリーン・低炭素化進展等におけるレアアースの重要性を示しつつ、産学研連携強化を通じた同技術の応用範囲拡大を主張。国家金融監督管理総局は、25年末の商業銀行の不良債権残高3.5兆元（約78兆円、前四半期末比-5.4千億円）、不良債権比率1.50%（前四半期末比-0.02p）と公表し、中国人民銀行は、金融政策執行報告（25年第4四半期）で預金準備率や金利引下げ等多様な政策手段を柔軟かつ効率的に活用し、流動性と資金調達面の緩和的な環境を維持する方針を示し、中国金融当局が市場リスク防止の観点から、銀行に対して米国債保有の抑制を促す報道があった。なお、日本の衆議院選挙での自民党勝利に関して、外交部報道官は、中国の対日政策は一度の選挙により変わることはなく一貫しており、高市総理の台湾問題を巡る発言の撤回を再度要求。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日4,055億元、アウトライトリバースオペ期日5,000億元に対して、リバースオペ16,144億元（7日物：8,144億元、14日物：8,000億元）、アウトライトリバースオペ（6M）10,000億元、中央国庫現金管理商業銀行定期1,500億元を実施し18,589億元を供給。

(3) 主な経済指標

- ・CPI（1月）は、前年比+0.2%（12月、同+0.8%）と春節時期ズレ要因（春節休暇が昨年1月、本年は2月）により、豚肉や卵類を中心とする食品価格や旅行等が下落に転じたほか、ガソリン等がマイナス幅を拡大して全体を押し下げ、コアでも前年比+0.8%（12月+1.1%）と低下した。前月比は+0.2%（12月、同+0.2%）と2カ月連続でプラス維持。
- ・PPI（1月）は、前年比-1.4%（12月、同-1.9%）と、40カ月連続で下落が続く中、下落幅は2カ月連続で縮小。生活財価格は、食品を中心に下落幅を拡大したが、反内巻政策の効果等から生産財価格の下落幅が、原材料、加工を中心に縮小。前月比では+0.4%（12月、同+0.2%）と4カ月連続でプラスを維持し伸びを高めた。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.2710%	1.3400%	1.2635%	
1W	1.4300%	1.4300%	1.5273%	1.4900%
2W	1.5110%	1.5000%	1.5435%	1.5000%
1M	1.5500%	1.6500%	1.5823%	1.5700%
3M	1.5790%	1.5800%		1.5800%
6M	1.5930%			1.5800%
9M	1.6000%			1.5900%
12M	1.6100%	2.3000%	1.7500%	1.5900%

中国人民銀行は、春節連休を前にタイト化する市場に対して日々の資金供給の積極化に加え、アウトライトリバースオペを額倍増させることにより市場心理の安定を維持。市場では連休を前にターム物の出合いは限定的となり、短期の月内物の1.6%台半ばでの出合いが中心。ターム物は1カ月の1.6%台での出合いが中心。

NCD市場の金利水準も安定した状況が維持され、ターム物の金利水準は、春節越えとなる1カ月が1.5%台半ば、四半期末越えとなる3カ月以降の期間は1.5%台後半と、概ね前週と同水準での取引となった。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON		
1W	3.67%	3.69%
1M	3.68%	3.72%
3M	3.65%	3.75%
6M	3.65%	3.75%
12M	3.60%	3.75%

中国国内市場では、春節の連休を前に資金需給がややタイトな状況に変化はないものの、当局の金融機関に対する米国債保有抑制勧告報道やFRB利下げ期待の高まりもあり、ターム物の金利水準に変化はなく、1カ月が3.6%台後半で出合っている。

3. 人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.34%		1.59%	1.64%	1.70%
6M	1.32%		1.59%	1.65%	1.73%
1Y	1.32%	1.32%	1.61%	1.68%	1.80%
3Y	1.38%	1.48%	1.73%	1.80%	1.98%
5Y	1.54%	1.67%	1.79%	1.90%	2.23%
10Y	1.79%	1.99%	2.17%	2.27%	2.74%

米国債券市場は、公表が遅れる雇用統計の悪化懸念や小売売上高の予想外の伸び悩みから買いしかりとなる中、注目の雇用統計が予想外に堅調となって反落したものの、年次改定等における米雇用市場の脆弱さや予想を下回るインフレ指標、軟調な株式市場から反発する展開。

中国債券市場では、春節連休を控えて資金需給も安定し、ポジション調整中心の動意のない中、世界的な長期金利低下もあって、金利低下余地の残る信用債中心に買いが入る調整相場となった。イーロードカーブは、全体的に一段と低下する中でフラットニングが進み、クレジットスプレッドは全期間に亘り縮小している。

この結果、10年米国国債利回りは4.05%（前週末比-16bp）へと低下を続け、10年中国国債利回りは1.79%（同-2bp）へと低下したこと、利回り差は226bp（同-14bp）へと一段と縮小。

4. 先物為替市場

	USD / CNY
1M	-119.0 / -118.0
3M	-361.0 / -360.0
6M	-698.0 / -695.0
9M	-1,001.0 / -997.0
12M	-1,279.0 / -1,270.0

対ドル基準レートは6.9398と前週末比-192pipsのドル安元高、対円基準レートは4.5304と同+937pipsの円高元安と、対ドル基準レートは1ドル=7元を下回る水準で緩やかに低下させることで元高を容認しつつも、市場実勢対比での元安水準維持により急激な元高を牽制することにより、金融政策執行報告における元の安定を重視する姿勢を示している。

中国国内市場では、現地金融当局による金融機関への米国債保有抑制指示に関する報道に加えて、春節休暇前の季節的なドル売り元買いにより、2023年5月以来となる1ドル=6.90元の大台を一時下回ったが、春節前の元買い圧力も緩やかとなり、中国人民銀行の基準レートの実勢対比での元安幅拡大設定もあり、6.91元台に戻して週末を迎えた。

先物は、春節を前に直物がドル安元高で推移し、ドル金利の低下もあり、1年物は-1,200台前半までディスカウント幅を縮小後に-1,200台後半まで戻す行っていく展開。

5. 金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.55%		1.40%
6M	1.53%	1.58%	1.40%
9M	1.50%	1.57%	1.40%
1Y	1.50%	1.56%	1.40%
3Y	1.53%	1.59%	1.40%
5Y	1.60%	1.68%	
7Y	1.65%	1.73%	
10Y	1.73%	1.84%	

金利スワップ市場は、春節連休を前に動意なく、材料難の中で債券利回りの低下により小幅低下。スワップスプレッドも概ね変化なし。

6. その他（週末に公表された経済指標等）

- ・習主席は、「求是」誌の「当面の経済重点任务」と題する記事において、大規模市場の優位を活用するために強い国内市場の構築や、イノベーション推進方針や改革による高質発展、対外開放、都市と農村の連携等の堅持を強調。
- ・中国人民銀行は、金融監督管理総局等と共同で、農村振興に関する金融支援の常態化についての意見を発表。
- ・中国の王毅外相とルビオ米國務長官がミュンヘン安全保障会議において会談し、両国首脳による重要な合意を実行し、米中関係の安定的な発展を推進することで合意。また、ルビオ國務長官は、同会議での講演において米国は欧州と共にあると欧州との協調を訴え、茂木外相との会談においては、高市首相の訪米を揺るぎない日米同盟の姿を示す機会とすべく緊密に連携することでも一致。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
 ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
 ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。